

令和6年度 市民と市長の意見交換会(要旨)

【開催概要】

テーマ 「市長と話そう、たじみの未来～ふるさととして誇れるまちに～」

日 時 令和6年 11 月9日(土)10:30～12:00

場 所 駅北庁舎4階大ホール

対象者 市内在住の高校生・大学生

参加人数 12 人

1 多治見市への提案

■ 中心市街地の活性化・人口減少対策について

- (1)若い世代が中心となったまちづくりの一つとして、小中学生が学年に捉われず色々な学年で交流できるようなイベントができるといいなと思います。
- (2)まなびパークの学習スペースやプラティ多治見で勉強することが多いです。学びパークはすぐ席がいっぱいになってしまいます。学習スペースを充実させて欲しいです。
- (3)休日に遊べるようなカラオケやゲームセンター、バッティングセンターが欲しいです。
- (4)プラティ多治見など駅周辺には高校生が気軽に入れる飲食店が少ないので、増やして欲しいです。
- (5)商店街の空き店舗などを活用して、学生や会社員が利用できるワーキングスペースを作ると良いと思います。QRコードで入退室を管理するなど、デジタルを活用して、人件費を削減しながら運営できるといいと思います。
- (6)東濃5市で連携して、土地のある市に企業を誘致し、あとはベッドタウンとして人が住みやすい街にするなど、人口減少対策に取り組むといいと思います。

(市長)

◎学習スペースについて

学習館やプラティ多治見にも働きかけていきます。

◎中心市街地の活性化について

中心市街地の活性化について、プラティ多治見(以下、プラティ)の話が出ました。プラティは市が運営していると思っている方が多いですが、民間企業が運営しています。市は、駅南再開発全体に関わりました。マンションの売れ行き、ホテルや駐車場の利用率、

駅前ロータリーの整備による利用者の利便性向上、また駅周辺の人口増加や税収増加の状況などから、再開発全体としては成功したと言えます。残る課題はプラティのにぎわいづくりです。市は中心市街地の活性化という観点から協力をしています。その中で、1階部分のスーパーの誘致に市の経済部も関わりました。また、多治見は暑いまちで、室内で子どもの遊べる場所がないという問題があったため、子育て施策の一環として、2階の「こどもっちパーク」の誘致にも関わりました。まちのにぎわい作りについては、今後も民間と連携して取り組んでいきます。

◎人口減少対策について

駅周辺の再開発がうまくいけば人口が増えるという簡単な問題ではありません。人口減少対策は正解を出すのがなかなか難しい、行政として大きな課題です。周りのまちから一つのまちに移住者が集中するということは、周りの市が過疎化していくということです。5市で連携するというご意見は着眼点が素晴らしいと思います。

■公共交通について

(7) 200 円バスを復活して欲しいです。また、バスの本数を増やして欲しいです。高齢者の方は免許を返納するとバスの割引が受けられる制度があると思いますが、本数が少なく、せっかくの制度が使いづらいのではと思います。

(市長)

200 円バスは、9 年間、市が年間約 1,400 万円の予算を投入して取り組んできました。コロナ禍でバスの利用者が減り、また長年実施してきたことで、200 円が当たり前になってしまいました。多くの方に利用いただくための新たな施策として「バスチケット 65」という 65 歳以上の方に向けたバスチケットの配布を始めています。まずはみなさんに日常的にバスをたくさん利用していただくことがバスの本数を増やすためには必要です。みなさんの使い勝手がよくなるよう、取り組んでいきます。

(8) 公共交通の問題を解決するために Maas(※1)を導入してはどうでしょうか。

※1 Mobility as a Service とは、地域住民や旅行者一人一人の移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせで検索・予約・決済などを一括で行うサービス

(市長)

10 万人規模の都市ではなかなか運用が難しいのが現状です。市では「古虎溪よぶくるバス(※2)」や「市之倉トライアングルバス(※3)」を運用しています。

※2 市之倉ハイランド区域と JR 古虎溪駅を結ぶ乗り合いバス。通勤通学時間帯のみ運行するもので朝は市之倉ハイランドから JR 古虎溪駅までの便が 10 分間隔、夕方は JR 古虎溪駅から市之倉ハイランドまでの便が 20 分間隔で運行。予約をすることで逆便(反対ルート)への乗車が可能

※3 路線や時刻を設定せず、利用者の予約に応じて運行するデマンド型会員制乗合バス

■生理休暇の導入について

(9)生理休暇について、企業などで導入されていると思いますが、学校でも導入をしてはどうでしょうか。生理痛がひどい人は遅刻・早退・欠席が多くて出席率が低くなってしまうと、推薦入試などで不利になります。女性が活躍できる社会の実現のために取り組んで欲しいです。

(市長)

女性の活躍、多様性を考えていくために大切なことだと思います。推薦入試については、生徒を推薦する学校は重い責任がありますし、後輩への影響もあるため、慎重にならざるを得ない現状があります。進めていくのに時間はかかると思いますが取り組んで行きます。

■民間事業所との連携協力について

(10)市民プールを整備することで、子どもを健康に育てるまちとして、子育て世代にとって魅力的なまちになると思います。

(市長)

プールは健康づくりにもレジャーとしても素晴らしいと思います。ただ、プールの建設費は何億円もかかります。また、維持をするのに年間何千万円もかかります。現在多治見市では、官民連携事業として、株式会社コパンに協力していただき、毎月市民にプールを開放する日を設けています。

■スポーツを通したまちづくり

(11)多治見出身のアスリートはいますが、多治見の中で育ったアスリートはいません。市内にアスリートを育成できる仕組み、またスポーツに関わる仕事ができる環境を整えてはどうでしょうか。

(市長)

プロスポーツは大きなスポンサーがないと自主運営が難しいです。「岐阜セイリュウヒーローズ」というプロバスケットボールチームが現在多治見市内を拠点に活動しています。まずはその支援に注力し、スポーツに強い地域を作っていけたらと考えています。

2 将来たじみのためにできること

(市長)ここからは、みなさんが主役になるために、大人になった時、将来多治見のために、地域のために、日本のために、どんなことができるか、どんなことをしたいか、夢でも目標でもいいので教えていただきたいと思います。

- (1) 将来起業したいと思っています。多治見で起業できたらと考えています。
- (2) 多治見市内の中小企業にスポンサーになってもらい、多治見の文化を外に発信しながら、スポーツに携わる人を応援できる環境を整えたいです。スポーツに関わる職業で生活できるまちにしたいです。
- (3) 多治見には魅力的な古きよき街並みがあります。良い部分は活かしながら、若い人にも住みやすいまちを造ることに関わりたいです。
- (4) 多治見のタイルの質が素晴らしいというお話をよく聞きます。タイルは多治見の強みだと思います。その良さをもっともっと人に伝えていきたいです。
- (5) 吹奏楽をやっています。楽器を演奏するのが大好きなので、市内の色々なイベントに参加して、人にたくさん元気を与えられたらと思います。
- (6) 情報分野に興味があります。公共交通のあり方や、人口減少対策について、様々な情報を分析、数値化することで解決できるような仕組みをつくりたいです。
- (7) 小中学校の教員を目指しています。わたしは小中学校といい先生にめぐまれました。不登校が増えていると聞くので、そういった問題を解決していきたいです。
- (8) 多治見のことを語れるユーチューバーになって、多治見を知らない人に観光にきてもらえるような活動をしたいです。
- (9) 中学の教員になって、数学の楽しさを伝えていきたいです。
- (10) 小学生から高校生までが自由に出入りできるようなスペースを作りたいです。学校帰りによって、高校生が小学生に勉強を教えたり、外国人の子どもも受け入れて国際交流もできる、そんな施設を作りたいです。
- (11) 興味のある生物の分野を勉強して教員になりたいです。
- (12) 教員の働く環境は今とても厳しいと思います。教員も子どもも守れる英語の教師になりたいです。